

あいさい通信

発行：あいさいボランティアガイドの会 編集：若山

愛西市森川町井桁西27 愛西市観光協会内

電話：0567-55-9993

アメダス 愛西

愛西市には気象庁のアメダスが設置されていて、ふるさと探検などで、「あれがアメダスです」と紹介すると、みなさん一様に感心されます。

気象庁は、名古屋市など各都道府県の県庁所在地などに所在する全国約60か所の気象台・測候所で、気圧、気温、湿度、風向、風速、降水量、積雪の深さ、降雪の深さ、日照時間、日射量、雲、視程、大気現象等の気象観測を行っています。雲、視程、大気現象等は観測者が目視によって観測していますが、その他は地上気象観測装置によって自動観測しています。また、愛知県の伊良湖などに所在する全国約90か所の特別地域気象観測所でも、地上気象観測装置による自動観測を行っています。

そして、アメダス(AMeDAS)とは「Automated Meteorological Data Acquisition System」の略で、「地域気象観測システム」といい、雨、風、雪などの気象状況を時間的、地域的に細かく監視するために、降水量、風向・風速、気温、日照時間の観測を自動的におこない、データを気象庁に伝送して、気象災害を防止・軽減する重要な役割を果たしています。アメダスは、現在、降水量を観測する観測所は全国に約1,300ヶ所(約17km間隔)あり、このうち、約840ヶ所(約21km間隔)では降水量に加えて、風向・風速、気温、日照時間を観測しています。〔気象庁ホームページより転記、一部補足〕

愛西市のアメダスは名古屋地方気象台が管轄しており、定期的にメンテナンスをされています。愛西市周辺の地上気象観測地は、名古屋、一宮、蟹江、桑名、北勢、上石津、大垣、岐阜などにありますが、<3頁に続く>



電柱上にある風向風速計



日照時間計

愛西 盛夏の風物詩



津島神社の神葎祭



見越町の子供サイレイ

8月3日午後4時より津島市の天王川公園で「神葎(みよし)祭」が開催されました。津島神社の重要な神事の一つで、祭の日(今年は7月26日)に天王川に流され、昨年1年間人々の



内佐屋町の子供ザイレン

厄を肩代わりしてきた神葎の供養が津島神社神職により天王川公園の丸池で奉仕され、また、巫女さんが綺麗に水上神楽を舞いました。

津島神社周辺の津島・愛西市内には、この神葎祭に関わる行事が開催されている町内があります。その行事は、各町内によって呼び方が異なりますが「子供祭礼」、「おみよし祭」、「ちょうちんとぼし」などと呼ばれ、開催内容も多少違うようです。また、昭和50年代の高度経済成長期に廃止されたり、簡略化されたりしている町内も多いようです。この中で、内佐屋町の「子供ザイレン」は、当地の伝統文化を伝える風習として祭礼が続けられていて貴重です。ここの「子供ザイレン」では、町内の氏神社である相江社で6月から準備が始まり、砂や竹などで作られた祭壇に、蒲の葉で作られた御神体を供え、今年は8月2日に、相江社へ子供達が集まり、午後7時に提灯を山形に灯し、また、御神体の前でオガ屑を燃やし、子供達の無病息災を祈願していました。そして、次の日の早朝、木曾川に御神体を流しました。



森川町大森の盆たたき



森川町下古川の盆たたき

一方、多くの町内で、8月に地藏盆が開催されていて、子供達が町内の地藏堂に集まっています。森川町などでは、「盆たたき」という特有の盆行事が開催されています。今年は8月15日夕刻、町内の氏神社である津島社や富岡神社遥拝所に子供達が集まり、わら縄で作った道具で地面をたたき、囃子歌を唄いながら町内の家々を回っていました。

木曾川 漁業体験 2

本紙12号(8月)でも紹介しましたが、愛西市観光協会では、子供達の夏休みに合わせて7月20日(祝)、8月2日(日)に、愛西市の木曾川三和港付近で地引網体験などを実施しました。

8月2日(日)は、猛暑日になりましたが、11組40人の親子が参加され、ボランティアガイドの会もスタッフとして協力し、みんなで網を引くと、大きなセイゴ(若いスズキ)やボラなどが捕れました。



また、この日は干潟が大きく広がりシジミもたくさん採れました。みなさん、自然豊かな木曾川で楽しい体験ができ、有意義な思い出になったと思います。8月30日(日)も開催します。

アメダス 愛西

<表紙から続き>名古屋と岐阜は気象台であり、愛西、桑名、大垣のアメダス(観測地)で、降水量、風向・風速、気温、日照時間を自動観測しているのに対し、一宮、蟹江、北勢、上石津では、降水量のみを観測しています。

今年の夏もニュース報道で猛暑を伝えていましたが、気象庁ホームページを見ると、各地の過去のデータ(昭和54年以降)を知ることができます。余り嬉しくはない話ですが、そのデータに、アメダス愛西は全国10位の40.3℃(1994.8.5)という最高気温記録があります。また、岐阜県多治見で全国2位の40.9℃(埼玉県の熊谷気象台と同記録)を記録した日は、39.6℃(2007.8.16)と記録されており、アメダス愛西は、全国でも最高気温を記録しやすい観測地のようです。ちなみに、全国1位は、高知県の江川崎で観測された41.0℃(2013.8.12)です。



地上に置かれた降水量計

アメダス愛西は、八開中学校南門東側(愛西市江西町川原=右図:北緯35°13'、東経136°41.9')に設置されています。周辺には何の案内もありませんが、気象災害の防止・軽減に重要な役割を果たしている設備ですので大切にしましょう。

八開中学校の西には愛西市八開庁舎があり、すぐ近くには、国土交通省の国土地理院が設置している三角点もあります、もちろん、愛西市のアメリカ移民の歴史を伝えるマルジマ・コロンブスの碑や、山神社にある江戸時代の御囲堤案内板などもありますので、ふるさと探検に良いです。



おいしい蓮の実

今年の夏は良い天気が続き猛暑でした。そのためか、愛西市の広大な蓮根田では、長期にわたって大きな美しい花が咲き続けていました。そして、この季節には、蓮根田で蓮の実がたくさん実っています。



蓮の実は、でん粉が豊富であり生食されています。蓮の実も品種により美味しいものとそうでないものがあるようですが、立田・八開地区の人は、子供の頃、お菓子代わりによく食べたそうですし、塩茹でにすると酒の肴に重宝されると言われます。

蓮の実は、花托が若い緑色の時が生食に良く、堅牢そうな外見に反し花托はスポンジのように簡単に破れます。そして、その中に実が入っています。実の皮をむいて食べると、淡い甘味と苦みがあり、生の大豆に似た食感があります。蓮の実は、入荷数が少ないため事前確認が必要ですが、道の駅・立田ふれあいの里などでも購入可能です。

中国や台湾、香港、マカオでは餡にして、月餅、最中などの菓子に加工されることも多いようです。餡にする場合、苦味のある芯の部分は取り除くことが多いですが、取り除いた芯の部分を集めて蓮芯茶として飲まれることもあります。ベトナムでは、蓮は国花であり、砂糖漬け(甘納豆)やぜんざいの具として食べられています。また、蓮肉(れんにく)という鎮静、滋養強壮作用がある生薬として女性に人気が高いそうです。

～ 観光協会が関連する 9月以降の予定 ～

- 9月 6日(日) 津島の祭検定試験 地域物産展(主催:津島ロータリークラブ)
- 10月 3日(土) 歴史講演会「江戸時代の村と村人たち」
(於:佐織公民館、主催:市教育委員会)
- 10月10日(土) 稲沢サンドフェスタ
- 10月11日(日) かにえ町民まつり
- 11月21-22日(土・日)
全国ゆるキャラグランプリ2015in浜松



V G 9月定例会の予定

集合時間:9月20日(日)9時00分

集合場所:愛西市文化会館

内容:秋の行事、案内申し込み方法について 他